



—昭和大学歯科病院の理念—

患者本位の医療
先進医療の推進
良き歯科医師の育成

発行責任者 病院長 榎 宏太郎
編集責任者 広報委員長 高橋 浩二
〒145-8515 東京都大田区北千束2-1-1

TEL 03-3787-1151 (代表)

ホームページ: <http://www.showa-u.ac.jp/SUHD/index.html>

ご退職に寄せて

昭和大学歯科病院 副院長 飯島 毅彦

陽の光が日ごとに力強さを増して待ちこがれた春が近づいてきています。”Spring is just around the corner.”という言い回しがあります。玄関からちょっと外を覗くとSpringさんが見えるのではないかという、まだ寒さを感じる時にホッとするような表現ですね。春が本格化してくると年度が変わり、退職される方と新人とがバトンタッチをします。

日本ではなぜ4月1日が新しい年度の始まりなのでしょう？年度の切り替えは学校の入学と卒業の区切りの学校年度、会計の区切りの会計年度があります。この両方を3月末を区切りにしたのは明治19年だそうです。それまでは学校の入学もそれぞれの学校で決まりはなかったようです。会計年度は当時の経済活動の中心であったイギリスの会計年度に倣ったと言われています。また、稲作が中心であった日本では稲作の準備をする4月を新年度としたという説があります。諸外国とは異なった制度のようですね。4月は桜の季節ですが、見事な満開は事の始まりと終わりを印象付けるのを彩っているように思います。今回はこの春に、歯科病院をご退職される方々をご紹介します。

顎関節症治療科の船登雅彦先生は顎関節の異常を専門に診療されていました。診療患者の40%以上は近隣医療機関からの紹介の患者さんを診察されており、地域の歯科医院、整形外科、耳鼻科の先生方からの信頼は厚い先生です。4月以降は昭和大学スポーツ運動科学研究科教授として藤が丘リハビリテーション病院で引き続き研究と診療を行っていかれます。

小児歯科の佐藤昌史先生は子供たちに信頼さ

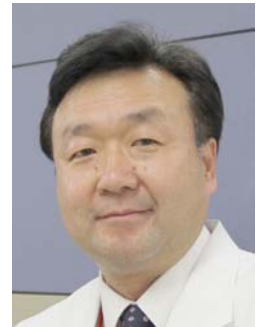
れる優しい先生です。多くの子供たちの成長を優しいまなざしで見届けてこられました。

看護部の境三枝子さんは歯科病院病棟の入院患者さんの看護に長年従事されてきました。周囲を和ませる話術は病棟の雰囲気づくりに大きく貢献してきました。御退職後も非常勤で引き続きお手伝いいただく予定です。

歯科技工室の横山厚之助主任は38年の長きにわたり歯科技工室で歯科病院の診療に貢献されてきました。後輩からも慕われ、次の世代を作って来られました。

事務課の高田けい子さんは昭和57年に入職されて以来、一貫して歯科病院に勤務されてきました。歯学部1回生の卒業からこの歯科病院を見守って来られました。最近では歯科技工室の受付で歯科臨床を支えてこられました。

これらの昭和大学歯科病院を支えられて来られた方が一線を退くのは寂しいものですが、次の世代の者たちがバトンを受けてより良い歯科病院を作っていきたいと思います。新しい年度を迎えるに当たり、歯学部学生、臨床研修歯科医師も交代します。皆、建学の精神に則り、患者さんのためによりよい歯科医療を提供する歯科医師を目指し、研鑽しています。次世代を担う歯科医師の育成に皆様のご理解を心よりお願い申し上げます。



ホワイトニング外来(美容歯科) 紹介

歯のホワイトニングとは、加齢や遺伝、生活習慣などによって変色した歯を削らずに、薬材を使用し、色素を分解することで歯の漂白を行う治療のことを言います。

- ①病院で行う「オフィスホワイトニング」
- ②患者さんご自身で行う「ホームホワイトニング」
- ③神経のない歯が変色したときに行う「ウォーキングブリーチ」があります。

最近では、多くの歯科医院でも行われ、生活雑貨専門店やコスメショップ、ドラッグストアにもホワイトニングと表記された商品が多数あり、かなり身近なものとなったホワイトニングですが、誤った知識や手法も広まりつつあります。このような問題を鑑み、当院美容歯科では、昨年4月にホワイトニング専門の外来「ホワイトニング外来」を開設致しました。

当院ホワイトニング外来には、歯科医師とともに日本歯科審美学会で認定されたホワイトニングコーディネーターの資格を持つ歯科衛生士が在籍しています。当外来では図1にあるような手順でホワイトニングを行っています。まず、患者さんの思う白さへ近づけられるようにカウンセリングの時間を設けています。そして、本当にホワイトニングに適している歯・口腔内であるかの診査、診断を行っています。ホワイトニング治療は効果や費用、期間に関して個人差があり、予見性のある診断ができるよう測色や歯冠比色法を用いて評価しております。また、診査を行うにあたり、本来の歯の状

態を知るためにも先に歯の清掃を行ってから診査へ入ります。

実際にホワイトニングを行う場合にも、安全性の観点から、日本で厚生労働省の薬事認可されている薬材や機器を使用しホワイトニングを行っています。また、ホワイトニングの際に起こりやすい副作用として挙げられる知覚過敏が生じた場合も随時対処しています。必要があれば、ホワイトニング後の白さに合わせた詰め物、かぶせ物の治療も行っています。

ホワイトニングにより白くした歯は、時間の経過や生活習慣により後戻りが生じますが、長く白さを保っていただくためのアドバイスやメンテナンス等も行っております。

更に、歯の白さだけでなく、歯や歯茎などのお口全体の健康状態もチェックし、長期間健康なお口を保つためのアドバイスも行っています。

ホワイトニングは、歯を削らずに白くできる画期的な方法ですが、どのような歯でも施術できるわけではなく、強度のテトラサイクリン変色歯や無カタラーゼ症など適応外の場合もあります。また乳幼児、妊娠している方、授乳中の方には施術していません。

「歯の色が気になる」「歯をもっと白くしたい」など、お悩みの方は、ぜひ一度当外来にご相談ください。

ホワイトニング外来(美容歯科) 科長 真鍋 厚史

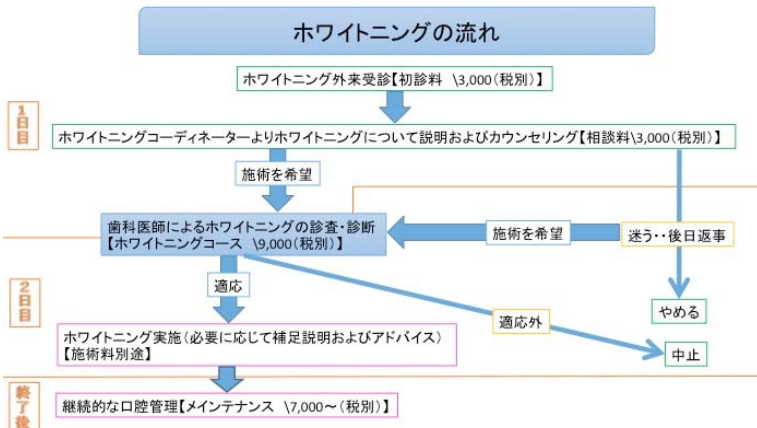


図1 当院ホワイトニング外来の流れ

ホワイトニング外来スタッフ
 歯科医師 山口麻衣、小川弘美、黒川千尋
 歯科衛生士 酒井麻里、佐藤祥子



ホワイトニング外来スタッフ

退任のご挨拶

顎関節症治療科 科長 船登 雅彦



1981年に現在の補綴歯科に入局し、被せ物の治療を専門としてまいりました。2004年9月に現在の顎関節症治療科が新設され、私の研究テーマである「顎関節症」の治療を臨床で活かすべく、主にあご関節に痛みを

訴える患者さんの治療に携わるようになりました。

また、2011年に「スポーツ歯科外来」が標榜され、責任者としてアスリートやスポーツ愛好家にスポーツマウスガードを提供させていただきました。2012年からは顎関節症治療科の科長として多くの患者さんに成長させていただきました。2013年には医療安全管理者を兼務させていただきました当院の医療安全にも力を注いでまいりました。

本年4月1日付けで昭和大学スポーツ運動科学研究所教授に就任いたします。今後は2020年東京オリンピックに向けてアスリートのサポートを中心に研究や診療に励みたいと存じます。

歯科病院の皆様には長い間お世話になり、ありがとうございました。昭和大学歯科病院がさらに発展することを祈念しております。



顎関節症治療科とスポーツ歯科外来のスタッフ

退任のご挨拶

小児歯科 准教授 佐藤 昌史



3月末をもちまして定年を迎えさせていただきます。私は昭和58年に昭和大学歯学部を一期生として卒業後、小児歯科学講座の大学院生として歯科病院で歯科医師人生をスタート致しました。お母さんに抱っこさ

れて診療室にいらしたお子さんがいつの間にか成人に育たれるのを見ると改めて年月の速さを実感致します。

小児に関わる仕事は医療に限らずお子さんの心身の成長を支援し見守ることかと思えます。この34年間、歯科治療が苦手なお子さん、様々な障がいのあるお子さん達と出会い、歯科医療を通じて多くの経験をさせていただきただけでなく、ご家

族の熱い思いや御苦労にも触れることができました。平凡な歯科医である私では担当したお子さんやご家族のご要望に至らなかったことも多かったことと思いますが、出来るだけお話を伺う時間を大切にしよう努めたつもりでいます。

末筆になりましたが、患者さんの益々のご健康（ご健口）を祈念申し上げるとともに、診療を通じてお世話になりました各専門科の先生方、病院スタッフの皆様、長きにわたり本当に有難うございました。



小児歯科を支えてくれている医員とともに

長い間、お世話になりました

歯科技工室 主任 横山 厚之助



歯科病院が開院して3年目の昭和54年4月に入職いたしました。当時は2号棟も出来てなく、駐車場の一角に人口の水の流れる池があり、小さな滝もありました。それから長い間、歯

科医師の方々、歯科衛生士さん、事務の皆様、また技工室の皆さんから色々な事を学ばせていただき、感謝でいっぱいです。

4月より新しい職場環境になりますが、歯科病院で培った事を糧として頑張っ参ります。38年間本当にありがとうございました。

定年退職にあたって

看護部 境 三枝子

昭和52年より看護に従事し、早や40年が経過しました。平成5年から昭和大学歯科病院にご縁があり配属となりました。病棟・口腔外科外来に勤務し、近年では内科クリニックへもリリーフとして勤務することになり、毎日楽しく仕事をさせて頂いております。皆様からのご指導に深く感謝を致しております。

尚、4月から引き続き病棟配属として内科クリ

ニックにもお世話になります。

定年退職にあたり昭和大学歯科病院の更なる発展を祈念いたします。今後とも宜しく願いたします。



定年を迎えて

事務課 高田 けい子



「定年退職」この響きを、まるで他人事のように聞いていた自分が、この日を迎えることとなってしまいました。月日の流れの早さを感じずにはられません。

入職以来34年の永きにわたり歯科病院で異動もなく、大過なく勤めることができたのは、多くの皆

様の温かいご指導とご協力のお陰だと思っております。本当に、充実した日々を、過ごすことが出来ました。この場をお借りして、歯科病院の皆様にご心より御礼申し上げます。

皆様のご健康とご多幸を祈念し昭和大学歯科病院の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。本当にありがとうございました。

編集後記

花粉が飛び交う季節到来、マスクを付けつつ伏し目がちな日々ですが、ちょっと顔を挙げ空を見上げると真つ青な空に桜のつぼみが春を待っている様です…桜の開花と共に心も身体も新年度に向けリフレッシュしたいものです。

(M.N)

